

# 福井県感染症発生動向調査速報

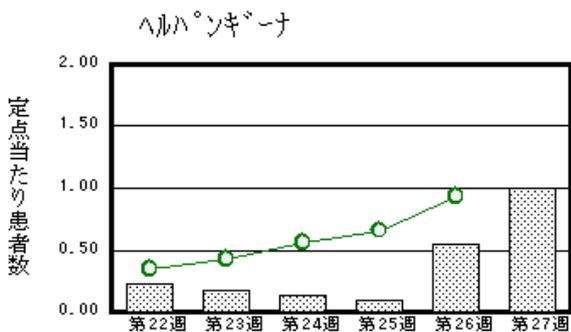
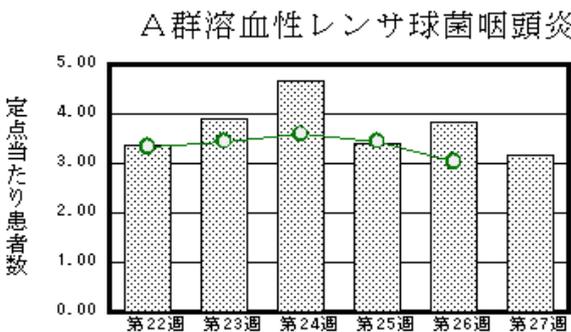
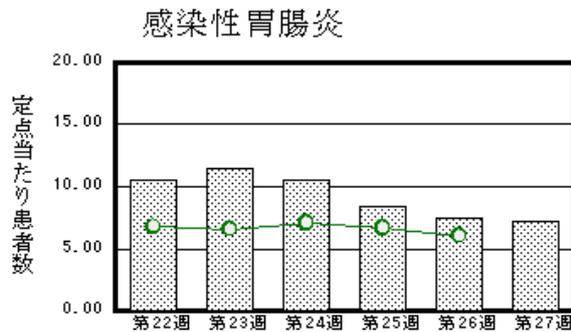
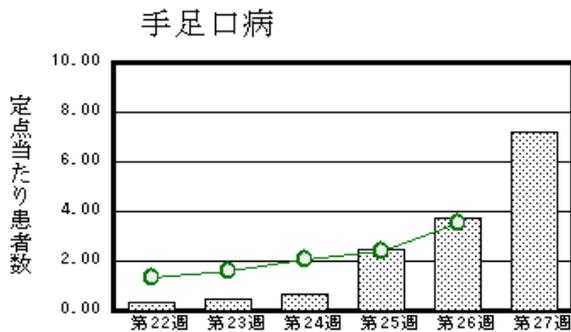
<<平成29年>>

<週報> 第27週 (平成29年 7月 3日～7月 9日)  
 <月報> 6月 (平成29年 6月 1日～6月30日)

発行日：平成29年7月12日  
 発行：福井県健康福祉部健康増進課  
 福井県衛生環境研究センター  
 kansen@erc.pref.fukui.jp

## ◆注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】①手足口病158名(7.18名) ②感染性胃腸炎157名(7.14名) ③A群溶血性レンサ球菌咽頭炎70名(3.18名) ④ヘルパンギーナ22名(1.00名) ⑤突発性発しん14名(0.64名)  
 ( )内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】①手足口病(158名) ②感染性胃腸炎(157名) ③A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(70名) ④ヘルパンギーナ(22名) ⑤突発性発しん(14名)
- 【手足口病】報告数は158名です。定点当たり報告数は増加しました(3.73名→7.18名)。地域別にみると、丹南地区11.80名、福井地区8.29名、坂井地区6.00名、奥越地区5.00名、若狭地区3.50名、二州地区2.00名の順となっています。
- 【感染性胃腸炎】報告数は157名です。定点当たり報告数は減少しました(7.50名→7.14名)。地域別にみると、福井地区12.57名、二州地区12.33名、坂井地区3.00名、丹南地区3.00名、奥越地区2.00名、若狭地区2.00名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は70名です。定点当たり報告数は減少しました(3.82名→3.18名)。地域別にみると、奥越地区5.00名、丹南地区4.80名、二州地区3.33名、坂井地区2.67名、福井地区2.29名、若狭地区1.00名の順となっています。
- 【ヘルパンギーナ】報告数は22名です。定点当たり報告数は増加しました(0.55名→1.00名)。地域別にみると、坂井地区3.00名、二州地区1.67名、福井地区0.86名、奥越地区0.50名、若狭地区0.50名の順となっています。



※ 棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。  
 ◎ 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

## ◆感染症週報全国版の要点

2017年第25週号(6月19日～6月25日)要点

発生動向総覧	<第25週>咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で横ばいであったが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い/その他最新動向
注目すべき感染症	<今週は該当記事はありません>
感染症関連情報	◆海外感染症情報 中東呼吸器症候群コロナウイルス(MERS-CoV)の発生報告(更新11)/鳥インフルエンザA(H7N9)の発生状況(更新18)/ラッサ熱の発生状況-ナイジェリア(更新)/ヨーロッパにおける麻疹の流行(更新5)/コレラ流行の再興-イエメン(更新5)/世界のインフルエンザ流行の状況(更新12)/イエメンのコレラ流行に対する共同声明/ワクチン由来ポリオの発生-コンゴ民主共和国/デング熱の流行の発生-モリタニア
速報	<今週は該当記事はありません>

※ 詳細は国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページをご覧ください。http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html

◆全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:結核6名の報告がありました。
- 3類感染症:腸管出血性大腸菌感染症3名の報告がありました(下表参照)。
- 4類感染症:報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象:梅毒1名の報告がありました。

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)		
患者	男児 1名	女児 1名	女性 1名
血清型	O157	O157	O157
主な症状	腹痛、水様性下痢、嘔吐、 発熱、溶血性貧血、急性腎 不全、溶血性尿毒症症候群 (HUS)	水様性下痢	なし
感染原因・感染経路	調査中	調査中	調査中
平成29年	福井県	有症者 7名、無症者 4名	
	全国	704名(6月25日現在)	
平成28年同時期届出累計	有症者 6名、無症者 3名、全国 647名		

◆福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 平成29年 第27週 平成29年7月3日(月)～平成29年7月9日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計	前週	全国(26週)
インフルエンザ (32)	インフルエンザ (鳥インフルエンザ を除く)									1012 0.20
小児科 (22)	※1 RSウイルス 感染症		1 0.33					1 0.05		853 0.27
	咽頭結膜熱	3 0.43	1 0.33	3 1.50		3 1.00		10 0.45	16 0.73	2925 0.93
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	16 2.29	8 2.67	10 5.00	24 4.80	10 3.33	2 1.00	70 3.18	84 3.82	9559 3.03
	感染性胃腸炎	88 12.57	9 3.00	4 2.00	15 3.00	37 12.33	4 2.00	157 7.14	165 7.50	19109 6.05
	水痘								5 0.23	1430 0.45
	手足口病	58 8.29	18 6.00	10 5.00	59 11.80	6 2.00	7 3.50	158 7.18	82 3.73	11159 3.53
	伝染性紅斑								1 0.05	351 0.11
	突発性発しん	3 0.43			2 0.40	8 2.67	1 0.50	14 0.64	5 0.23	1788 0.57
	百日咳	1 0.14						1 0.05		47 0.01
	ヘルパンギー ナ	6 0.86	9 3.00	1 0.50			5 1.67	1 0.50	22 1.00	12 0.55
流行性耳下腺 炎	2 0.29	1 0.33			5 1.00			8 0.36	6 0.27	1683 0.53
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎		*	*		*	*			9 0.01
	流行性角結膜 炎									550 0.79
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									7 0.01
	無菌性髄膜炎									20 0.04
	マイコプラズマ肺 炎								1 0.17	104 0.22
	クラミア肺炎(オウム 病は除く)	1 0.50						1 0.17		6 0.01
	※2 感染性胃腸 炎(ロタウイルス)									52 0.11
	インフルエンザ (入院患者数)									※3

インフルエンザは、小児科定点+内科定点 \*欄には定点はありません

細字は定点当たり患者数

(注) ※1は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。

※2は、平成25年10月14日以降届出対象疾患。

※3は、2016/2017シーズンの全国の集計は第22週で終了いたしました。

◆福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成29年第27週 平成29年7月3日(月)～平成29年7月9日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	※1 RSウイルス感 染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	※2 感染 性胃腸炎 (ロタウィ ルス)	インフル エンザ(入 院患者 数)	
～5ヶ月		～5ヶ月						3						～5ヶ月									
～11ヶ月		～11ヶ月		3		18		14		3		3		～11ヶ月									
1歳		1歳		5	3	43		71		11		10		1歳									
2歳		2歳			6	29		42				5	1	2歳									
3歳		3歳	1	1	13	17		15					2	3歳									
4歳		4歳			11	10		8			1	4	2	4歳									
5歳		5歳		1	9	7		1						5歳									
6歳		6歳			7	7		1					1	6歳									
7歳		7歳			5	7		1						7歳									
8歳		8歳			3	1		1						8歳									
9歳		9歳			3	5		1						9歳									
10～14歳		10～14歳			7	7							2	10～14歳									
15～19歳		15～19歳				2								15～19歳									
20～29歳		20歳以上			3	4								20～29歳									
30～39歳														30～39歳									
40～49歳														40～49歳									
50～59歳														50～59歳									
60～69歳														60～69歳							1		
70～79歳														70歳以上									
80歳以上																							
合計		合計	1	10	70	157		158		14	1	22	8	合計							1		
前期計		前期計		16	84	165	5	82	1	5		12	6	前期計							1		
当期間/前期	***	当期間/前期	***	0.63	0.83	0.95		1.93		2.8	***	1.83	1.33	当期間/前期	***	***	***	***		***	***	***	
増減数		増減数	1	-6	-14	-8	-5	76	-1	9	1	10	2	増減数							-1	1	

(注)※1は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

\*\*\*は前期計が“0”のとき

※2は、平成25年10月14日以降届出対象疾患

◆福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症月報分)

平成29年6月

[患者数:人]

	STD 定点数	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		合計		基幹 定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
福井	2	1	2		5		1	1		2	8	2	/			
坂井	1											0				
奥越	0											1				
丹南	1											1				
二州	1		1									1				
若狭	0											1				
合計	5	1	3		5		1	1		2	9	6				
前期計	5	2	1		6				1	2	8	6	14	9		23
当期間/前期		0.5	3	***	0.83	***	***	***		1	1.13		1.07	0.56	***	0.87
増減数		-1	2		-1		1	1	-1		1		1	-4		-3

[定点当たり患者数:人/定点]

	STD 定点数	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		合計		基幹 定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
福井	2	0.50	1.00		2.50		0.50	0.50		1.00	4.00	2	/			
坂井	1											0				
奥越	0											1				
丹南	1											1				
二州	1		1.00								1.00	1				
若狭	0											1				
合計	5	0.20	0.60		1.00		0.20	0.20		0.40	1.80	6				
全国5月	987	1.07	1.15	0.36	0.50	0.31	0.19	0.49	0.15	2.23	1.99	475	2.86	0.41	0.01	3.28

[年齢階層別患者数:人]

	STD	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		合計		基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
0歳																
1歳～4歳														1		1
5歳～9歳														2		2
10歳～14歳																
15歳～19歳			1								1					
20歳～24歳			2								2					
25歳～29歳							1				1					
30歳～34歳																
35歳～39歳								1			1		2			2
40歳～44歳		1			1						1	1				
45歳～49歳													1			1
50歳～54歳																
55歳～59歳					1						1					
60歳～64歳																
65歳～69歳					1						1		3	1		4
70歳以上					2						2		9	1		10
合計		1	3		5		1	1		2	9		15	5		20
前期計		2	1		6				1	2	8		14	9		23
当期間/前期		0.5	3	***	0.83	***	***	***		1	1.13		1.07	0.56	***	0.87
増減数		-1	2		-1		1	1	-1		1		1	-4		-3

\*\*\*は前期計が"0"のとき